

# JIS

## 滑り軸受—記号—第2部：応用記号

JIS B 0163-2 : 2007

(JSME/JSA)

平成 19 年 4 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

|        | 氏名      | 所属              |
|--------|---------|-----------------|
| (委員長)  | 大 園 成 夫 | 東京電機大学          |
| (委員)   | 相 羽 繁 生 | 社団法人日本ばね工業会     |
|        | 石 丸 尋 士 | 社団法人自動車技術会      |
|        | 大 山 忠 一 | 社団法人日本バルブ工業会    |
|        | 桑 田 浩 志 | 財団法人日本規格協会      |
|        | 小 林 正 彦 | 社団法人日本工作機械工業会   |
|        | 佐々木 信 也 | 独立行政法人産業技術総合研究所 |
|        | 高 辻 利 之 | 独立行政法人産業技術総合研究所 |
|        | 高 橋 勝 良 | 社団法人日本ベアリング工業会  |
|        | 飛弾野 文 英 | 日本工具工業会         |
|        | 丸 山 一 男 | 工学院大学           |
|        | 望 月 正 紀 | 社団法人日本ねじ工業協会    |
| (専門委員) | 村 井 陸   | 財団法人日本規格協会      |

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 19.4.20

官 報 公 示：平成 19.4.20

原 案 作 成 者：社団法人日本機械学会

(〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 TEL 03-5360-3500)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 大園 成夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本機械学会(JSME)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 7904-2:1995, Plain bearings—Symbols—Part 2: Applications** を基礎として用いた。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

**JIS B 0163-2** には、次に示す附属書がある。

附属書 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

**JIS B 0163** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS B 0163-1** 第 1 部：基本記号

**JIS B 0163-2** 第 2 部：応用記号

## 目 次

|                                | ページ |
|--------------------------------|-----|
| 序文.....                        | 1   |
| 1. 適用範囲.....                   | 1   |
| 2. 引用規格.....                   | 1   |
| 3. 記号及び用語.....                 | 1   |
| 3.1 記号（アルファベット）.....           | 1   |
| 3.2 記号（ギリシャ文字）.....            | 9   |
| 附属書（参考）JIS に対応する国際規格との対比表..... | 11  |
| 解 説.....                       | 14  |

## 滑り軸受—記号—第2部：応用記号

## Plain bearings—Symbols—Part 2: Applications

**序文** この規格は、1995年に第1版として発行された ISO 7904-2:1995, Plain bearings—Symbols—Part 2: Applications を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書（参考）**に示す。

**1. 適用範囲** この規格は、滑り軸受の計算、設計及び試験に関連する **JIS B 0163-1** に規定する一般記号の応用記号について規定する。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21**に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

**ISO 7904-2:1995, Plain bearings—Symbols—Part 2: Applications (MOD)**

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS B 0163-1** 滑り軸受—記号—第1部：基本記号

**備考** **ISO 7904-1:1995 Plain bearings—Symbols—Part 1: Basic symbols** からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

**3. 記号及び用語****3.1 記号（アルファベット）**

| 記号          | 適用用語                      | 対応英語（参考）   |
|-------------|---------------------------|--|
| $A$         | 面積<br>破断時の伸び<br>放熱表面積     | area<br>elongation at fracture<br><u>area of heat-emitting surface</u>   |
| $A_{lan}$   | ランド面積                     | land area  |
| $A^*_{lan}$ | 相対ランド面積                   | relative land area   |
| $A_p$       | オイルポケット面積                 | oil pocket area  |
| $A_s$       | 断面積                       | area of cross-section  |
| $a$         | 距離<br>加速度<br>熱拡散率         | distance<br>acceleration<br>thermal diffusivity                          |
| $a_F$       | ギャップの入口とピボットポイントの位置との間の距離 | distance between entrance of the gap and the location of the pivot point |